令和5年度 さいたま市立ひまわり特別支援学校 第2回学校運営協議会 記録

日 時：令和5年11月8日（水） 10時30分～12時00分

場 所：ひまわり特別支援学校 会議室

出席者：委員13名（欠席1名）

次 第

1 開会の言葉

2 校長挨拶

3 熟議

「第1回熟議を受けた取組の報告と今後の取組について」

委員それぞれのお立場から、ご意見をいただきました。

・自治会の文化際に作品を出展していただいて、ありがたい。

・青少年育成会メンバーで行っている下校時の声掛けで、児童生徒から元気をもらっている。また、学校行事にも参加したが、先生方が子どもたちのために頑張っていることを知ることができた。学校の様子を知ることができてよかった。また、交流ができたらと考えている。

・合唱コンクールのリハーサルに見学に来てくれて、本校の生徒にとって、いい刺激になった。今後、図書委員かとのコラボ企画もある。引き続き、連携を図っていきたい。

・ひまわり祭で園を利用している児童生徒の様子を見学した。先生方の工夫が素晴らしく、感銘を受けた。

・歴代の校長先生が、今までご尽力された地域の方々との連携が、昨年度から始まったコミスクで花を開いたのではないかと感じる。地域との連携が児童生徒の刺激になりモチベーションになっているのではないかと感じる。

・茶道をきっかけに教育学部をはじめとする様々な学生たちがひまわり特別支援学校の子どもたちを理解しようとしており、ノーマライゼーションについて学ぶきっかけになっている。

・今後も連携を進めていくために、児童生徒会との関わりも見出していき、子どもたちから参画できるような取組をしていきたい。

・ひまわり特別支援学校の課題としては、給食室がないことで、肢体不自由教育部門の子どもたちは、ひまわり学園から、知的障害教育部門の子どもたちは、学校給食センターから給食の提供をしていただいている。同じ学校にいながら、違う献立の給食を食べている。給食も授業の一環となると考えると、食育の観点から大きな課題であると感じている。

・改修工事が行われている学校は、学校給食センターになっているが、自校方式がとられていないのは、さいたま市内の小・中・特別支援学校の中では、ひまわり特別支援学校だけになっているので、そのような意識をもっていただければと考える。

4 事務連絡

5 閉会の言葉

6 校内見学（知的障害教育部門高等部による呈茶会）